

第 26 号

平成23年10月15日

山水会

発行

北海道山水会

〔北海道公立学校

事務職員協会OB会〕

会 長 挨 拶

会 長 宗 片 啓

猛暑だった夏も終わり、又残暑も薄らいで心地よい清涼の季節を迎えました。会員の皆様にはお変わりなくお過ごしのことと推察いたします。山野を吹き渡る風はすっかり秋の様相を呈しています。

さて、去る9月3日開催の総会において、平成22年度各報告事項及び平成23年度の審議、協議事項も全て了解承認され、無事終了いたしました。

本会も昭和42年4月に産声を上げて44年の歴史を数えることになります。この間会員の方々のご協力とご支援により前進発展を遂げられことは、大変喜びに耐えないところであります。本会の現況は、新会員9名を迎え総勢231名となっております。

事業活動ですが、総会、役員会の開催と会報、短報の発行は勿論ですが、会員の方々の健康維持増進を願うとともに、会員相互の融和と親睦絆を深めながら、日常の精神的ストレスと肉体的には「高齢者に多いと言われる」メタボリックスの解消を図ることを目的に、パークゴルフ大会を開催しております。この大会の参加のためにパークゴルフ場に何度となく足を運び練習をしている人も多くいるようです。本年のこの大会には30名の参加があり、回を重ねるごとに内容も充実し、成績も高得点を上げ、年々腕前を上げているのは確かであります。このことは取りも直さず、運動不足の解消健康維持増進への相乗効果へとつながるものと思っております。また、その後の懇親会では一年ぶりの再会とパークゴルフ大会の話題で盛り上がり、時間の経過も忘れ話に熱が入っていました。お互いの健康を気遣い合い、願い合い来年の再開を約した方も多く見受けられました。来年のパークゴルフ大会には、本年以上の多くの方々の参加を期待しております。

忘れることの出来ない、今年3月11日の東日本を襲った大震災は1,000年に一度と言われる大惨事です。間もなく半年がたとうとしています。亡くなられた方17,500名以上、未だ行方が判明されていない方4,300名以上、避難されている方が83,000名以上と報道されています。又、この大震災が誘引し原子力発電所の事故、この事故に追い討ちをかけられ、震災による行方不明者の捜索の障害になると同時に震災の復旧、復興に多大な障害を与えております。亡くなられた方々の冥福をお祈り致すと共に行方不明の方々の一日も早い判明を願い、そして一日も早い復旧、復興を願っております。

今後、高齢化社会の加速は益々進み医療費、介護保険、年金等高齢者に税負担が厳しくなってきましたが、どうか健康については自己管理と予防医療に十二分に配慮され健康で楽しい、体力、気力共に溢れた人生を過ごされることを念願しております。

末筆となりましたが、教育関係団体(北海道公立学校事務職員協会、北海道公立学校事務長会)の会長から各団体の諸問題についてのご説明その対応についての様子を話をさせていただきました。そのご苦勞に敬意を表すると共に厚くお礼と感謝を申し上げます。

本日この会報26号をお届けしますが、この会報が届く頃は、寒さも増しているものと思えます。ご自愛ください。

会員の皆様には、健康には充分留意され益々充実した生活とご発展を心より祈念いたしますと共に、絶大なご支援とご協力をお願い申し上げご挨拶いたします。

総 会 報 告

総会は、出席者名44名の方々方が定刻に集まり、9月3日(土)KKRホテル札幌で開催しました。開会の言葉に続き、昨年度総会以降に逝去された中澤力夫様他6名の方々をはじめ先に他界された先輩各位に黙祷で哀悼の意を捧げました。

つづいて、総会次第により会長の挨拶、新入会員の紹介を行いました。今年度は出席された新会員がおりませんでしたので、残念ながら入会に当たってのご挨拶をいただくことが出来ませんでした。

次に、本年めでたく、卒寿(1名)と傘寿(4名)を迎えられた5名の方々を披露し、出席されました傘寿の岡力夫様に宗片会長から記念品が贈られ、岡様からは蘊蓄のある謝辞とご壮健なお姿に、会場からは盛大な拍手が送られました。受賞された皆様には、健康に留意され今後とも本会の発展のためご指導下さるようお願い申し上げます。

その後、議事に入り、議長に太田様を選出し、事業報告、会計報告、監査報告の議事が審議され、満場一致で原案どおり承認をいただきました。

事務局からは、山水会のさだめ(会則)第4条で会務の連絡調整を行うため、幹事長の設置について提案がありましたが、これも全会一致で承認されました。

また、議事の最後に会場より予算書を作成すべきではないかという意見がありました。事務局からは、本会の決算書は予算書に基づいたものではなく、会員からお預かりした会費をどのように使ったか、その経緯を明らかにするための決算書であり、予算書は作成しておりませんとの説明がありました。会場からも山水会は親睦を前提に発足スタートをした経緯があり、退職者の親睦が大前提であるので余り難しくしなくても良いのではないかという意見が多数あり、今までどおり決算書だけと言うことで、了承されました。議長さんの手際のよい進行により、全て議事を円滑かつ迅速に処理し無事予定時間内に終了出来ました。太田様本当に有難うございました。

総会を終了後は、来賓である教育関係二団体の北海道公立学校事務職員協会の宇佐美会長、北海道公立学校事務長会の松田会長から、各々の会の活動状況とそれぞれの課題などを資料を用意して丁寧なご説明をいただきました。昨今の道立学校を取り巻く環境の変化は私達が想像する以上のスピード感をもって進んでいることに驚かされるとともに、現職の皆様のご苦勞を改めて知ることが出来ました。その後、別室において恒例の記念写真を撮り懇親会に移りました。

懇親会は、廣瀬優様の「来年の総会は50名以上の参加で開催を」と願いを込めての乾杯のもと祝宴が始まり・カラオケとビンゴゲーム、景品はささやかでもガラガラポンで出玉の数字が読み上げられる度に、歓声とタメイキでおトシなど全く忘れてのはしゃぎ様は、今年も変わらずで、会話も弾み時間を忘れるほどでしたが、最後に長尾忠一様の締め乾杯をもって、予定どおり全日程を終了することが出来ました。



平成23年度 山水会 役員

相 談 役	藤田 石英	林 光男	中村 康元	船本 敏雄
会 長	宗片 啓			
副会長(庶務担当)	後藤 隆男	(会計担当)	加納 勝利	
幹 事 長	田村 裕明			
幹 事(庶務)	杉本 恒茂	田中 耕子	川口 繁光	竹内 幸
(会計)	中谷 和徳	松山 次男		
監 事	中澤 幸子	土岐 輝雄		

パークゴルフ大会盛会で終了

皁月の一日、健康管理維持増進を図るため、本会事業の唯一のレクリエーションとして、15年度よりパークゴルフ大会を実施しています。

第9回目を迎えた今年は、会場を南幌温泉パークゴルフ場から新篠津温泉のパークゴルフ場に変更し5月29日(日)参加者30名で開催しました。当日は、午前9時30分の集合時間には1人も遅れることなく送迎バスに乗り込み、新篠津温泉の会場に向かいました。

新篠津ふれあいパークゴルフ場のコースは一見して起伏の少ない平坦で、植栽等の障害物も余り気にならないコースに見受けられ、これは好スコアが期待できると各自張り切ってアウト、インに別れてスタートをしていきました。しかし、コースは見た目とは違いラフが深く、ボールがなかなか芝から抜け出せず、チョロ、オーバーと四苦八苦しているようでした。さらに、心配をしていた雨が降り始め打球は水しぶきを上げ思うところにナイスショットは出来ませんでした。全員がラウンドを終えるころには皁月の青空も広がり、途中棄権する人もなく無事終了することが出来ました。この様に上々のコンディションとは言えませんでした。一年ぶりの仲間との交流に心地よい汗を流し十分満足した様子でした。



パークゴルフ終了後は、懇親会場のニューしのかつクラブアイリスの温泉で一風呂浴び汗を流した後に、懇親会場の広間に集まり、成績発表と表彰が行われました。個人戦は優勝が80歳代、準優勝と3位が70歳代とベテラン勢が60歳代の若手を圧倒し、上位を独占してしまいました。因みに、年代別の平均スコアは60歳代(16人)は平均79で回り、70歳代(10人)は平均75で回り、最も良かった80歳代(4人)は平均71でプレイをしていました。



その結果、個人戦の成績が反映される団体戦も優勝、準優勝は全員70歳以上のチームで、かろうじて3位チームに60歳代が2名と団体戦もまた若手の惨敗に終わり、今年も技術力と集中力に勝るベテラン勢の活躍が目立った大会となりました。

表彰式の後には全員で写真撮影をし、飲んでカラオケで歌い、近況を語り合いながらパークゴルフの成績や昔話に花を咲かせ、時間の経つのも忘れ楽しく親睦を深めることが出来ました。

年に一度では有りますが、五月の爽やかな季節に仲間が集いスポーツで汗を流し、お酒を酌み交わしながら交流することはとても有意義なことと思います。

次回のパークゴルフ大会も皆様多数のご参加をいただきますようお願いいたします。

祝 卒寿おめでとうございます

草 薨 弘 一 様

この度、小生の卒寿にあたり、早速お祝いの書面をいただき誠に有り難うございます。

これまで医者に通うこともなく相変わらず元気に頑張っております。今は、町内会等の公式役員は全て御辞退申し上げ全くフリー状態でお手伝いをして、何かとお世話になっている町内会に恩返しをしております。まだ元気なつもりでおり若者と一緒にスポーツ等もやっております。

山水会も年々会員も増え会長さんも大変だと思いますが、会のため頑張ってください。私は、今後我が山水会が益々発展されることを願っており、これは当然の結果と考えております。会長さんも大変と思いますが、後輩のためよろしく願い申し上げます。

また、札幌在住の方々ばかりに何時もお世話になっておりますが、何卒よろしく願い申し上げます。平常健康には呉々も注意され、会のため後輩の為と思い頑張ってください

これから益々会員も増えよりよき会になることを願っております。宗片会長には日常健康には特に注意され今後共会長として頑張っていたきたいと思っております。然し、健康には充分注意されますよう、今後益々のご活躍を願っております。

祝 傘寿おめでとうございます

岡 力夫 様
早坂 繁夫 様
斉藤 稔 様
土屋 俊夫 様

岡 力 夫 様

この度、縁あってこの原稿を書くにあたり改めて八十年を顧みて何とかここまで来られたのは多くの方々の支えがあったからだ、しみじみ感じているところです。その様な出会いの思い出が今では私の財産となっています。

私が生まれた昭和六年は満州事変が勃発し、日本が戦争へと突き進み始めた時代のようなようです。私は昭和二十年四月に苫小牧工業高校に入学しましたが、戦時中のためすぐさま故郷の栗沢村の農家に勤労労働生として派遣され、八月の終戦まで学校に行けませんでした。一期先輩の方々の中では志願兵となり若き命を捧げた方も多くおりました。又、昭和二十二年九月に本校舎が火災で焼失し実習棟での授業の日々でした。この校舎の復旧の復興資金を募るため同窓会の先輩のお力を得て各科の三年生の仲間で楽団を編成し、土曜日と日曜日にかけて主として胆振管内、日高管内を巡業し私はボーカルを務めデイックミネの曲などを歌って頑張りました。今では考えられない事ですが、青春の楽しい思い出となっています。

昭和二十四年高校卒業後、縁あって道教委職員として採用され、その後四十二年(最後の八年間は道立学校勤務)公務員生活を続け道内各地で数多くの方との交流を得、大変お世話になりその土地での思い出が懐かしく走馬灯のように流れていきます。又、昭和三十二年に結婚し三人の子供が授かり当時は薄給のため妻には家計や子育てで大変な苦勞をかけたものだと遅まき乍ら感謝しています。今は、四人の孫の成長が楽しみの一つとなっています。

退職後は、悠々自適とは行かず地元会社に再就職し、その傍ら町内会や防犯協会の役員等も引受け結構忙しい日々を送ってまいりました。現在は、趣味の囲碁やパークゴルフ、家庭菜園などであちこち動き回っています。私は、昔からじっとしていることが苦手の性分で八十一歳になっても動き回っていられるということは本当に幸せなことだと最近つくづく感じています。これからもこれまで支えていただいた多くの人達のお陰と心から感謝しています。ありがとうございました。

早 坂 繁 夫 様

早いもので、平成四年三月、函館水産高校を最後に、公立学校勤務を終えて二十年になり、年令も四

月で八十路に入りました。

振り返ってみますと、永い人生ただのんびりと生きてきた様に思われ、関係の方々には多々ご迷惑をお掛けしたのではないかと感じております。その上「山水会」の集まりにも、いつも都合がつかず、一度も出席しなかったことを申し訳なかったと感じております。にも拘らず、この度、会長様から総会の席で傘寿のお祝いをして下さるとのご案内を頂き、ただただ恐縮するばかりでございます。誠に有り難うございます。

終わりに「北海道山水会」の皆様と、会の益々のご発展を心からお祈りいたします。

斉 藤 稔 様

皆様の近況を会報でお知らせ頂き、お世話になった方々を懐かしく思い出しております。現在は、通院・デイケアに通うのが日課ですが、お陰様で傘寿を超える事が出来ました。

今後は、病氣と仲良くつき合いながら、心豊かに過ごしたいと願っています。

土 屋 俊 夫 様

この度は、山水会の皆様から傘寿のお祝いを賜り誠に有難くお礼申し上げます。

早いもので退職後あっという間に二十年が過ぎてしまいました。多くの先輩、同僚、後輩に恵まれて過ごした日々が、懐かしく思い出されます。無事に勤めさせて頂いたことに感謝しております。幸いにも大病はしておりませんが、気力、体力の衰えを感じています。少々の家庭菜園と週一回のマージャンを楽しみながら元気になっています。

山水会の益々のご発展と会員の皆様のご健勝をご祈念申し上げ、お礼の言葉といたします。

山 水 会 の さ だ め

(目 的)

第 1 条 本会は、退職北海道公立学校事務職員が相集い、教育の今昔を語り、親睦を深めることを目的とする。

(会 員)

第 2 条 本会の会員は、前条の目的に賛同し、会費を納入した者をもって組織する。

(事 務 所)

第 3 条 本会の事務所は、会長の所在地におく。

(役員・任期)

第 4 条 本会役員は、次のとおりとする。

役員は総会において選出され、その任期は2年とする。

・ 相談役 若干名 会 長 1名 副会長 2名 幹 事 若干名(含む幹事長) 監 事 2名

2 会長は、幹事の中から幹事長を指名する。

(職 務)

第 5 条 役員の職務は、次のとおりとする。

- ① 相談役は、役員会の相談に応ずる。
- ② 会長は、会務を統括する。
- ③ 副会長は、会長事故あるとき職務を代行する。
- ④ 幹事長は会長の命により会務の連絡調整を行う。
- ⑤ 幹事は会長の命により会務を行う。
- ⑥ 監事は会の会計監査を行う。

(総会・役員会)

第 6 条 総会は年1回これを開き、役員会は必要に応じ会長が、これを召集する。

(慶 弔)

第 7 条 本会の慶弔に関することについては、役員会において決める。

(会費・年度)

第 8 条 本会の経費は、会費及び寄付金によるものとする。

2 会費は年額 2,000円とする。

3 会計年度は9月1日から翌年8月31日までとする。

(附 則)

1 この定めは、昭和42年4月よりこれを実施する。 4 この定めは、昭和57年10月より改正する。

2 この定めは、昭和48年9月より改正する。 5 この定めは、平成9年9月より改正する

3 この定めは、昭和52年9月より改正する。 6 この定めは、平成23年9月より改正する

お 知 ら せ

会員皆様の健康増進と地域会員相互の親睦・親交を深めるため、本会では助成金を出しております。地域仲間の活性化を図ってください。

次のような条件が整えば、助成金をお届けします。

記

1 パークゴルフ etc

2 参加人数 ○○人(会員10人以上を含む、参加者名簿添付)

3 開催日 平成 年 月 日

4 地区区分 道南(函館市・近隣) 道北(旭川市・近隣) 道東(帯広市・近隣)

5 助成金 5,000 円(年1回)

6 送金方法 銀行振込(銀行名、口座名義人、口座番号)

編集後記

「山水会会報第26号」をお届けします

今年の夏は、湿度が高く蒸し暑い日が続き、道内でも熱中症で体調を崩された方が多く、夏場の健康管理にはご苦労されたことと思います。しかし、季節は早くも秋の気配を日毎に深くしておりますが、皆様にはご健勝にてお過ごしのことと拝察いたします。

さて、死者、行方不明者が1万9千人以上の大惨事となりました東日本大震災は、発生から早くも半年が過ぎました。そして、福島第1原発の事故は、これからどのように収束してゆくのか、放射性物質の放出、拡散停止、除染の効果には、まだまだ明確な見通しが立たないようであり、高汚染地域の人たちは今後も長く故郷に戻れないとも言われています。

原子力は安価で安全なエネルギーとして国、産業界が一体となって推進してきましたが、九電、中部電に続き北電でも「やらせメール」問題が浮上りました。隠蔽やデータ改ざん、やらせ等々が明るみになり「安全神話」は、長年にわたって原発賛成の世論を誘導する行為によって支えられてきたと言っても過言ではありません。

菅首相は、再生エネルギー法案、特例公債法案の成立を機に退陣しました。「辞めろ、辞めない」の空しい論争に終始し、震災からの復興、原発事故への対応を抱え、一刻の政治的空白も許されない状況下でも、政局に振り回される日本の政治。統率力に乏しく事故対策、復旧、復興対策が後手後手に回った菅首相でしたが、「原発に依存しない社会」を目指し、自然エネルギーの導入という目標を掲げました。野田新内閣にはこの制度に道筋をつけ着実に実行することを願っています。この国難をいかに乗り越えるか、国の総力を挙げて復旧、復興に取り組み、被災自治体や被災者の苦しみや願いを、真摯に受け止めた政治を心から願うものです。

これからは日毎に寒さに向かう折、インフルエンザの流行にも気になるところですが、会員皆様には風邪など召さぬよう日々健康に留意され、楽しく充実した毎日を過ごされますよう祈念しております。

なお、本会についてのご意見、ご要望がありましたら、下記役員までご連絡ください。

(連絡先)

庶務関係 ・ 幹 事

.....

会計関係 ・ 幹 事

.....